

平成22年度・23年度 市立岸和田市民病院改革プラン等評価調書

評価点合計による総合評価	B	B
--------------	----------	----------

資料 3

大別番号	目 標	自己評価	委員評価	取り組み項目	実績報告総括	備考
1	急性期医療の充実	3	3	地域医療支援病院の大阪府承認の取得 急性期病院としての機能維持 地域連携クリティカルパスの推進	平成22年11月に大阪府により地域医療支援病院の承認を得た。 急性期医療を展開する上で重要となる指標を一定のレベルで維持している。 がんパスの始動と共に課題点を整理中。	泉州二次医療圏公立病院 初
2	救急医療の安定的継続	3	3	救急の受入継続 地域の実情に応じた救急の受入継続	救急体制の維持及び、二次輪番体制への継続参加と新体制への積極的参加ができています。 初期救急についても地域の実情に応じ継続実施している。	
3	がん医療の充実	3	3	ハード面の充実 (がん診療連携拠点病院としての取り組みについて)	放射線棟増築、緩和ケア病棟開棟及び放射線治療装置の更新を実施。	
				ソフト面の充実 (がん診療連携拠点病院としての取り組みについて)	がん診療連携拠点病院として求められる役割発揮。 医療従事者研修・がん登録・がん相談・普及啓発等の各事業についても引き続き継続。	
4	全体の最適化への取り組み	2	2	地域連携室の利用の向上 歯科連携の推進活動	診療科予約件数も増加傾向にあるものの、紹介率の伸び悩みがある。 地域の中核的病院をめざすにあたり、今以上の率の向上が望まれる。 平成23年度より岸和田市歯科医師会との口腔管理連携を推進中	
5	教育病院への取り組み 市民病院からの情報発信	2	2	本院及び地域の医療従事者への教育・研究活動 健康教育活動 患者、家族、市民のこころの癒しとしてのロビーコンサートの実施	看護学生への講義や医療従事者への講義について継続している。 (臨床医師研修、看護師キャリア開発、外部医療従事者への教育実施など) 市民講座等を積極的に実施。 ロビーコンサート、府医師会フィルハーモニーオーケストラ演奏の実施。	
6	市民等への理解を求める努力	1	1	広報活動 看護フェア活動 災害全員訓練時の、市の救急隊員、看護学校生徒の参加型演習活動	市民病院だより「みずなす」の創刊、ホームページの刷新、地域連携ニュースのカラー対応など、少しずつできることから着手。 看護フェアの継続実施。 災害訓練時での当院の訓練活動と一緒に参加してもらい、当院の災害活動を支援してもらおう、平成19年度から継続実施。	
評価点小計		14	14			

7	収益の確保	3	3	収益の増強 (地域医療支援病院施設基準の取得、DPC評価の向上) 要員の確保 (医師確保、看護師確保等活動と人件費比率)	地域医療支援病院施設基準の取得 医療機能が評価され、一定の患者単価のグレードが上がり、総じて収益の向上が図れた。 医師の常勤職員の拡大。 7対1基準を守りつつ質の向上、看護補助業務の体制整備、収益化を実施している。 人件費比率についても収益とのバランスをとっている。		
8	費用の効率化	2	2	薬品購買の見直し	薬品及び診療材料の購買交渉力強化 購買額削減にむけた事務局、薬剤部の協力体制が図れている。 交渉による購買額の抑制について一定の効果を出している。 従前の年度一回の見積もり合わせから、期中の随時交渉方式に改め、値引き交渉成立次第新価格へ置き換えている。 医療消耗備品は、鋼製小物類の更新が頻繁におき、計画額を上回った。		
				材料購買の見直し			
				委託料の見直し			委託料の全般に渡り、削減努力をおこなった。特に平成22年度は、医療機器の保守料について見直し、大幅削減をおこなった。
				賃借料の見直し			改革プランでの計画値範囲内の推移とした。
11	その他経費の見直し	2	2	その他経費の見直し	収支に影響がでる項目ではないものの無駄を省く努力が必要であり、光熱水費の単価増加による増加も含め、経費抑制についてさらに改善を図っていく余地がある。		
11	医療水準の維持と向上	2	3	計画的投資(プラン外の事情を含む)	病院のあり方の充実向上のため、プラン上では想定がなかったが、重要性に鑑み実施をおこなった。ただし、安定運営に留意した。		
評価点小計		15	16				

市立岸和田市民病院評価委員会 講評

合計	29	30	「公共性の確保」と「経済性の発揮」という二つの観点から、改革プランに対する取組状況を評価した。「公共性の確保」に関しては地域医療支援病院の承認や救急医療・がん医療など急性期病院としての医療機能の充実が図られ、「経済性の発揮」についても平成22年度、23年度の2年連続の経常収支黒字を達成しており、高く評価できる。一方、市民への医療情報発信や広報活動は、十分であるとは言えない。今後、税が投入されている市民病院としての責務をより一層自覚し、市民から信頼され支えられる病院となることを期待したい。			
----	----	-----------	--	--	--	--